

# 協力隊通信 vol. 3



地域おこし協力隊 移住定住コンシェルジュ 家財 綾

◆役場企画課総合政策室 ☎0238-87-0521

新型コロナウイルスも少しずつですが、落ち着いてきました。油断することなく、手洗いやうがい、マスクの着用や換気等の予防は継続して行いたいと思います。

まだまだ、移住フェアへの参加やイベントの開催は厳しいですが、オンラインやSNS等、新しい形での情報発信や相談業務に努めます。6月から空き家内覧等の対応を再開しました！

令和2年度空き家・移住相談実績  
(4月1日～5月20日)

町内の空き家を所有されている方から空き家バンクへの登録申請をいただき、登録件数が増えました。移住を検討されている方の空き家内覧や農業研修についての問合せがありました。

◇移住相談件数 2件

◇移住者数 4世帯5名

◇空き家バンク新規登録件数 4件

◇空き家バンク問合せ件数 12件

オンライン移住フェアに出展！

オンラインで初めての出展となり、北海道から沖縄まで、8道府県・138団体が参加しました。ディスプレイというアプリを利用したフェアで、初めての試みに悪戦苦闘した部分もありましたが、フェアの新しい形にワクワクしました。

今後継続的に町の情報を発信していきたいと思えます。  
オンライン相談スタート！



新型コロナウイルスの影響で移住フェアへの参加や町内のご案内が厳しい状況が続きました。外出自粛の中でも、移住フェア同様、対面で安心して相談ができるようにオンライン相談を開始しました。インターネット回線

を使ったテレビ会議システムを使い、画面越しに直面して、空き家や町営住宅等の見学等、希望に応じて相談を受け付けています。

学生応援！

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的とした外出自粛により、帰省を自粛し引き続き県外で生活している飯豊町出身の大学生や専門学校生等の皆様へ、飯豊町産の食材を中心とした故郷の味をお届けしました。応援品が届いた学生からお礼のメールやコメントが届き、大変嬉しく思いました。いただいたコメントの一部を紹介いたします。

▽思いがけない贈り物が届いて大変嬉しく思います。届いた日の夜に、贈り物のひとつである玉こんにを温めて、割り箸に刺して美味しくいただきました。『飯豊町プロモーション映像』をQRコードから飛んで拝見しましたが、思わず涙が出てしまいました。私の大学は前期いっぱいオンライン講義となつてしまい、アルバイトも思うように入っていないので、このような贈り物は本当に嬉しかったです。

私は今年、成人式なのでこのような状況で集まれるか少し不安ですが、友達と久々に会えることを楽しみにしてこれから頑張りたいです。

(小白川出身 20歳大学生 女性)

▽思いもよらぬふるさとの名産品の数々に胸が高鳴りました。また、飯豊

町プロモーション映像を拝見させていただきました。より一層帰省が楽しみになると同時に、このたびの自粛が少しでもあの美しいふるさとと、そこに住まう町民の方々への感染防止につながっていると幸いです。映像での里帰り堪能させて頂きました。

(小白川出身 23歳大学生 女性)

移住から1年。初めて飯豊で冬から春への移り変わりを経験しました。今年の春もまたコゴミやコシアブラ、タラの芽を頂戴し、天ぷらやお浸しにしていたできました。東京の友人にもおすそ分け。「すぐ近くにこんなおいしいものがあるなんて贅沢だね」と春の御馳走を堪能しました。帰郷希望女子応援プロジェクトの参加者より、「水没林を見に行けなくて残念」と連絡をいただき、写真を撮ってお送りしました。飯豊山がとてもきれいでした。



YouTube

学生応援の品に添えた、飯豊町プロモーション映像。  
「やっぱり飯豊で幸せになる。」  
ぜひご覧ください！

